

「本県の地域社会を取り巻く現状」に係る事前照会等での主な意見と対応等

ページ	修正・追記する理由	修正・追記内容	対応等
7 9	高齢者の虐待判断件数グラフと障害者の虐待認定件数 高齢者虐待「判断」と障害者虐待「認定」の使い分けの必要性 (法的な解釈等の違い)が無いのであれば、どちらかで統一しても良いと思います。		厚労省調査を確認すると 高齢、障害ともに「判断」を 使用されているため文言 を統一しました。
10	普通は、「特別支援学校の児童生徒」と記載されることが多いので、幼児・児童生徒と書いてあることに違和感を感じた。聾話学校に幼児部があるからでしょうか。児童という言葉の定義は、18才未満を指すので、あえて「幼児」という言葉は必要ないのではないか。	見出しと文中の表記で、幼児・児童生徒の「幼児」を削除する。	修正しました。
10	特別支援学校の児童数の推移だけでは全体像が見えづらいため。	特別支援学級の生徒数推移等のグラフの追加(可能であれば)	追加に向けて検討中です。
11	子どもの貧困率 子どもの貧困の現状が伝わるよう注釈や国調査による剥奪指標の追加		追加に向けて検討中です。
11	児童虐待種別の円グラフ 高齢者・障害者虐待との一貫性	P7高齢者・P9 障害者虐待と同様の表による記載に変更したほうがわかりやすいと思います。	修正しました。
12	ひとり親家庭の状況 ひとり親家庭世帯の現状がより伝わるよう割合等の数値データの追加		追加に向けて検討中です。
13	社会的擁護 自立援助ホームの説明と現状の追記		追加に向けて検討中です。
13	ヤングケアラーの状況 調査の状況を正確に伝えるように補足等の追加		本文、表に補足を追加しました。
14	不登校数・率の割合を示すグラフ 「在籍率」の意味が分かりにくい(一般の方は分からない?)	在籍率の定義もしくは、算定方法等を注記等に記載するとわかりやすくなると思います。	注記を追加しました。
14	不登校 学校内外の機関等で相談・指導等を受けていない児童・生徒の割合の追記		追加に向けて検討中です。

15	特例貸付 特例貸付の内容に対する記載が無いため(一般の方には知られていないため)	注記または、本文中に特例貸付の説明を記載するとわかりやすい。 例:「コロナ禍における生活困窮世帯に対する生活費等の緊急貸付制度」など	注記を追加しました。
17	ひきこもり者の推計割合 有効回答数の記載が無く分母が見えにくい(計算しないと認識できない)、該当者数の数量(イメージしづらい)の評価が難しい。	該当者数は、サンプル調査による実数なので、表題の「推計割合」のとおり、割合(率)だけの表記が理解しやすいかと思います。 ※調査結果のエビデンス等に関わる部分等で、外せない場合は、このままの表記で大丈夫です。	割合だけの表記に修正しました。
21	サービス評価の状況 健康福祉サービス自己評価の実施内容を知らない一般の方に理解いただくため。	本文中または注記で評価の実施内容等がわかるよう記載する。(対象となる事業種別等含む)	追加に向けて検討中です。
22	健康福祉サービス自己評価実施状況のグラフ内の数的根拠が判りにくい 例:令和4年度と令和5年度と比較すると、母数となる対象事業者が推定で4,340事業者に対し令和5年度では、5,493事業者となっており、実施対象となる事業者が1.26倍以上増えている計算になります。	数値に誤りが無い場合、事業者数の増加等に対する説明を注記等で記載するとわかりやすいかと思います。	追加に向けて検討中です。
27	孤独の状況のグラフ 見栄えの修正	滋賀県版のグラフの項目サンプルが、他表と比較して大きいような気がします。また、国とは別記載となっていますが対比できるのであれば、グラフ自体を併記すればより見やすくなるかと思います。(項目的には「無回答」が有る無しの違いだけなので問題なければですが。)	可能な範囲で見やすくなるよう検討します。
全体	資料全体のグラフ内で「年号」「年」等の表記がまちまちです	可能な範囲で統一すると見た目に統一感がでて良くなるかと思います。「令和4年」「2022」「R4」など様々な形態で使われています。 ※他の既存計画・資料等からの抜粋だと思いますので、事務的負担が増えない範囲で結構かと思います。	御記載のとおり各種資料からの引用となっておりますので、可能な範囲で検討します。